

科目名 老年看護援助論 時間割表記名 老年看護援助論	配当時期 2年次 単位数 1単位 時間数 30時間(16回)	講義担当者 田平佳苗 香月麗 高木雅弘 荒木留美 (実務経験のある教員)												
<p>事前学習内容</p> <p>老年看護学概論で学んだ、老年期の特徴について復習しておく。</p> <p>白内障・老人性難聴・脱水・前立腺肥大の病態・治療・看護について学習して臨む。</p> <p>講義に関連するテキストを熟読しておく。</p>														
<p>授業目標</p> <p>1. 高齢者の日常生活における基本的な援助について理解できる。</p>														
<p>DPとの関連</p> <p>DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解できる</p> <p>DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を提供できる</p> <p>DP3. 一人ひとりの個性(多様な価値観)や人権を倫理観に基づいて看護を実践できる</p> <p>DP4. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割を理解し、多様な場で生活する人々の生活の質の向上のために多職種と連携・協働する意義と方法を理解することができる</p> <p>DP5. 自己を理解し、他社を尊重したうえで、人間関係を構築することができる</p>														
<p>授業の流れ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>学習内容</th> <th>方法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>           1. 高齢者の機能と評価            1) ICF の考え方            2) 高齢者総合機能評価(CGA)            3) 日常生活動作(ADL)・手段的日常生活動作(IADL)            4) 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準            5) 認知症高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準            2. 高齢者とのコミュニケーション            1) 高齢者のコミュニケーション能力            2) 高齢者のコミュニケーションを促す要素と阻害要因            3) 高齢者とのコミュニケーションの方法            4) 高齢者に特徴的な変調(視覚障害、聴覚障害)            (1)老人性難聴 (2)失語症 (3)構音障害         </td> <td>講義</td> <td>テキスト①②</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>           3. 高齢者のリスクマネジメント            1) 高齢者と医療事故            2) 高齢者特有のリスク要因            3) 高齢者が見舞われやすい医療事故と対応の実際         </td> <td>講義</td> <td>           テキスト①②            * 2 回目は            45 分         </td> </tr> </tbody> </table>			回	学習内容	方法	備考	1	1. 高齢者の機能と評価 1) ICF の考え方 2) 高齢者総合機能評価(CGA) 3) 日常生活動作(ADL)・手段的日常生活動作(IADL) 4) 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準 5) 認知症高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準 2. 高齢者とのコミュニケーション 1) 高齢者のコミュニケーション能力 2) 高齢者のコミュニケーションを促す要素と阻害要因 3) 高齢者とのコミュニケーションの方法 4) 高齢者に特徴的な変調(視覚障害、聴覚障害) (1)老人性難聴 (2)失語症 (3)構音障害	講義	テキスト①②	2	3. 高齢者のリスクマネジメント 1) 高齢者と医療事故 2) 高齢者特有のリスク要因 3) 高齢者が見舞われやすい医療事故と対応の実際	講義	テキスト①② * 2 回目は 45 分
回	学習内容	方法	備考											
1	1. 高齢者の機能と評価 1) ICF の考え方 2) 高齢者総合機能評価(CGA) 3) 日常生活動作(ADL)・手段的日常生活動作(IADL) 4) 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準 5) 認知症高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準 2. 高齢者とのコミュニケーション 1) 高齢者のコミュニケーション能力 2) 高齢者のコミュニケーションを促す要素と阻害要因 3) 高齢者とのコミュニケーションの方法 4) 高齢者に特徴的な変調(視覚障害、聴覚障害) (1)老人性難聴 (2)失語症 (3)構音障害	講義	テキスト①②											
2	3. 高齢者のリスクマネジメント 1) 高齢者と医療事故 2) 高齢者特有のリスク要因 3) 高齢者が見舞われやすい医療事故と対応の実際	講義	テキスト①② * 2 回目は 45 分											

3	<p>4. 高齢者の日常生活援助</p> <p>事例: 白内障 老人性難聴</p> <p>1) 高齢者の身体的変化による日常生活への影響</p> <p>2) 高齢者の身体的変化による心理状態への影響</p> <p>3) 高齢者の身体的変化に対する安全安楽を考慮した援助</p>	<p>演習</p> <p>グループワーク</p>	<p>テキスト①②</p>
4 5	<p>5. 高齢者の日常生活援助: 歩行、移動、姿勢保持のための援助、 休息と睡眠</p> <p>1) 高齢者の転倒予防の意義</p> <p>2) 高齢者の転倒発生の要因(内的因子・外的因子)</p> <p>3) 高齢者の転倒予防のためのアセスメント</p> <p>7) 休息と睡眠</p> <p>(1) 高齢者と生活リズム</p> <p>(2) 高齢者にみられる睡眠障害</p> <p>(3) 生活リズムのアセスメントとケア</p> <p>8) 運動とレクリエーション</p> <p>(1) 運動の意義と目的</p> <p>(2) 高齢者のレクリエーション【レクリエーション計画立案】</p>	<p>講義</p> <p>演習</p> <p>ロールプレイ</p>	<p>テキスト①②</p>
6	<p>6. 高齢者の日常生活援助</p> <p>1) 食生活と栄養</p> <p>(1) 高齢者にとっての食事の意義</p> <p>(2) 高齢者に特徴的な変調</p> <p>① 脱水</p> <p>② 摂食・嚥下障害</p> <p>③ 低栄養(タンパク質・エネルギー低栄養状態(PEM))</p> <p>(3) 栄養ケア・マネジメント</p> <p>(4) 他職種との協働による栄養管理</p>	<p>講義</p> <p>演習(技術)</p>	<p>テキスト①②</p> <p>摂食・嚥下障害看護認定看護師</p>
7	<p>7. 高齢者の日常生活援助</p> <p><b>【摂食・嚥下機能に障害のある患者の看護】</b></p> <p>1) 高齢者の食事の意義</p> <p>2) 食生活・嚥下に関するアセスメント</p> <p>3) 嚥下能力・嗜好性・環境に応じた食生活の援助</p> <p>7. 高齢者の日常生活援助・実技:</p> <p><b>【摂食嚥下障害がある高齢者への食事介助】</b></p>		
8	<p>8. 高齢者の日常生活援助・実技</p> <p><b>【経管栄養法・挿入と管理】</b></p> <p>1) 経管栄養法</p> <p>2) 胃管挿入</p> <p>3) 栄養物の注入時の援助と観察</p>	<p>講義・演習</p>	

	<p>4) 栄養物注入時以外の援助と観察</p> <p>【義歯の取り扱い】</p> <p>1) 義歯のケア・保管</p> <p>2) 着脱時の注意点</p>		
9	<p>9. 高齢者の皮膚の加齢変化による皮膚トラブルと看護</p> <p>1) 褥瘡・スキン-ケア</p> <p>(1) 発生のメカニズム</p> <p>(2) 予防のための援助</p> <p>(3) 褥瘡・スキン-ケアに対するチーム医療の実際</p>	<p>講義</p> <p>演習(技術)</p>	<p>テキスト①②</p> <p>皮膚・排泄ケア</p> <p>認定看護師</p>
10	<p>10. 高齢者の日常生活援助・実技</p> <p>【点滴をしている高齢者の寝衣交換】</p> <p>事例: 脱水に対し補液を行っている高齢者</p>	演習(技術)	テキスト①②
11	<p>1) 高齢者の特徴をふまえた寝衣交換</p> <p>2) 高齢者の寝衣交換におけるリスク</p>		
12	<p>11. 排尿障害のある高齢者の日常生活援助</p> <p>【事例検討: 高齢者の排泄の援助】</p> <p>事例: 前立腺肥大 前立腺全摘出術後</p> <p>1) 人格と尊厳を守るための援助</p> <p>2) 生活史を考慮した援助</p> <p>3) 残存機能の活用と自立を促す援助</p> <p>4) 健康状態の喪失に伴う孤立化のリスク</p>	<p>講義</p> <p>グループワーク</p>	テキスト①②
13	<p>12. 認知症の理解</p> <p>1) 認知症とは</p> <p>(1) 加齢による認知症の病態と要因</p> <p>(2) 環境と行動・心理症状</p> <p>(3) 認知機能の評価</p> <p>(4) 認知症高齢者の日常生活支援</p> <p>2) 認知症高齢者のアセスメント</p> <p>3) 行動・心理症状と生活への影響</p> <p>(1) コミュニケーション (2) 生活環境の整え方</p> <p>(3) 食事 (4) 清潔 (5) 排泄</p>	講義	テキスト①②
14	<p>4) 特徴的な行動や心理症状に対する支援</p> <p>(1) 攻撃性 (2) 妄想 (3) 幻覚 (4) 徘徊</p> <p>(5) 不潔行動 (6) 多動</p> <p>5) 認知症高齢者の権利擁護のための社会的支援・制度</p> <p>6) 認知症高齢者の家族への支援とサポートシステム</p>	講義	テキスト①②
15	<p>13. 認知症高齢者への対応の実際</p> <p>1) 特徴的な行動や心理症状に対する関わり方の実際</p>	講義	テキスト①②

	2)認知症高齢者のリハビリテーション 3)認知症高齢者のセーフティマネジメント		
16	終講試験(45分)		
<p>受講上の注意</p> <p>○各疾患については、既習学習となるため、事前に復習をしておくこと。その知識を用いて必要な看護について考えられるようにすること。</p> <p>○老年看護学概論で学んだ加齢に伴う様々な機能の変化について必ず復習しておくこと。</p>			<p>評価方法</p> <p>筆記試験</p> <p>出席状況</p> <p>課題</p>
<p>使用するテキスト</p> <p>①系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院</p> <p>②系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾病論 医学書院</p> <p>参考文献</p> <p>国民衛生の動向 国民の福祉と介護の動向 高齢者白書</p> <p>ナーシンググラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害, メディカ出版</p> <p>ナーシンググラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践, メディカ出版</p>			